

2019 年 12 月 19 日

フロン類の適切な回収・処理に向けた国際的枠組みへ参画

三井・ケマーズ フロロプロダクツ株式会社（以下、MCF）は、エアコンや冷蔵庫などの冷媒として使われているフロン類を機器の廃棄時に適切に回収・処理することを目指す、環境省主導の国際協力の枠組みに賛同いたしました。

この枠組みは環境省が主導して立ち上げられ、12 月 10 日、スペイン・マドリードで開かれている第 25 回国連気候変動枠組み条約締結国会議（COP25）にて旗揚げが行われました。日本のほかドイツやフランスなど 7 カ国と世界銀行などの国際機関、代替フロンを使う機器を取扱う 10 の企業・団体が賛同しています。

温暖化ガスである代替フロンは、エアコン/冷蔵庫/ショーケース等の冷媒として幅広く使用されていますが、業務用冷凍冷蔵空調機器の更新時や廃棄時における冷媒ガスの回収率の低さが問題視されています。

日本では機器の廃棄時にフロン類の回収業者に回収量の報告を義務付けているほか、破壊や再生といった適正処理がなされるまでの行程を書面で管理しています。また、日本に強みのある廃棄物処理技術を共有することで、フロン類の製造から回収・適正処理まで、製品のライフサイクル全体を通じた法的スキームの構築や、このスキームを受け入れられる社会的な環境づくりを各国に促していく考えです。

MCF は、温暖化効果の低い次世代冷媒の製造・供給、代替フロンの回収・再生の分野で本取組みをサポートいたします。



環境省公式 Twitter より

以上